

令和4年2月10日

若年層向け自治体取組事業支援 ～もりやまキャリアチャレンジ2021～



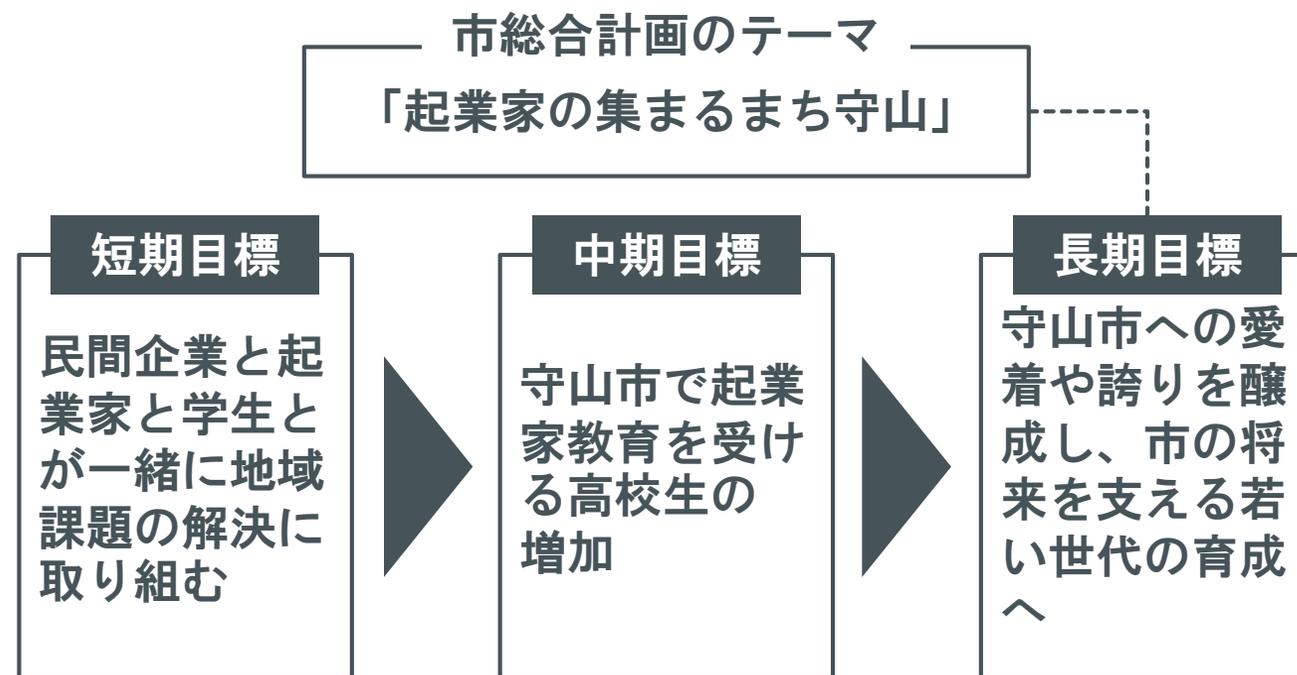
CHIHOMEN NEWS vol.8 4 近畿財務局大津財務事務所



もりやまキャリアチャレンジとは？

滋賀県守山市の中・高・大学生を対象とした起業家育成プログラムで、守山市でのフィールドワークを経て、地域の魅力や問題発見を行い、ビジネスプランを作り、ピッチイベントで発表を行うプログラムです。大学生・社会人による丁寧なフォローアップを受けながら、「起業家の集まるまち守山」を実感し、起業をキャリアの一つとしてもらうことを目指しています。

当プログラムは守山市と大津財務事務所が共催している「地域未来ミーティング」での意見交換を発端として誕生し、2020年度から守山市が実施している事業です。

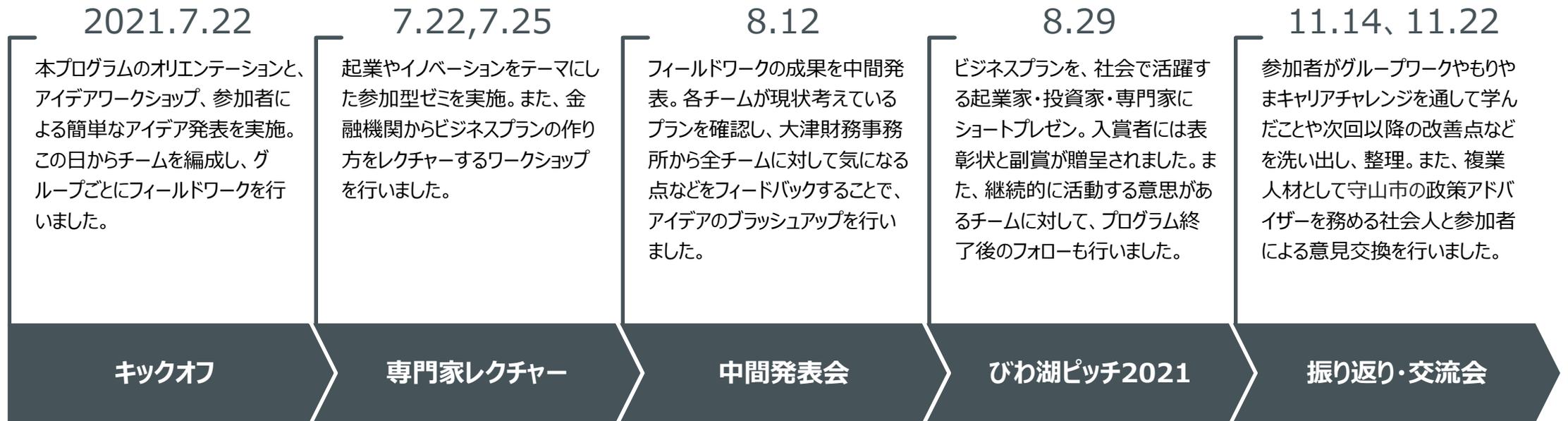


企画背景・ポイント

- 前回（2020年度）は最終のピッチイベントのみ参加していたが、今回は守山市の依頼に基づき、大津財務事務所がプログラムの全行程に参画
- 大津財務事務所が関係機関と連携し、学生のビジネスプラン作りをブラッシュアップ
- 大津財務事務所がブラッシュアップに携わった学生の一部プランが、国連や(株)日本政策金融公庫主催のビジネスプランコンプリにもエントリーされ、いずれも滋賀県史上初となる上位入選する快挙



もりやまキャリアチャレンジ2021の全体スケジュール



以降で、それぞれの活動内容について記載いたします。

キックオフミーティング

プログラムには20名の生徒が参加。解決したい社会課題が似ている人同士で5つのチームが構成され、ほとんどの参加者が初対面同士でした。学年や学校が異なる多様性溢れるチーム構成がもりやまキャリアチャレンジの見所の一つです。

守山市長、関係機関のご挨拶

- 参加学生のほか、大津財務事務所をはじめとした、本プログラムの関係機関が出席し、宮本市長からの激励のお言葉で始まりました。
- 宮本市長は、「市制施行50周年を迎えた守山市は、若い起業家を市全体で応援する行政である。守山市は皆さんをたくさんサポートをする。だからたくさんチャレンジして欲しい。」と熱いメッセージを参加者の皆さんに送られました。
- その後、大津財務事務所をはじめとした関係機関からも参加者へ自己紹介などを行いました。

守山市からのレクチャー

- 守山市地域振興課の杉本係長から、守山市の魅力や特徴についてレクチャーを行いました。
- その後、各チームに分かれてグループワークを行い、お互い自分がどういった社会課題を解決したいか説明しあった後、チームでどういった社会課題をどうやって解決するかを話し合いました。
- 最後に、各チームから解決したい社会課題とその解決方法について発表していただきました。環境問題から、地域コミュニティの問題まで、早速各チームから個性溢れる発表が出されました。



専門家レクチャー

守山市出身の起業家、(株)マイネットの上原代表取締役社長から起業やイノベーションをテーマにした参加型ゼミを実施。また、(株)日本政策金融公庫よりビジネスプランの作り方をレクチャーするワークショップを行いました。

上原社長からのレクチャー

- 「近江商人に学ぶビジネスの心得」についてオンラインでご講演。
- 参加者が今回もりやまキャリアチャレンジでビジネスプランを構想していく中で、ビジネスプランを考える上での3つの心得である1. Why this? (なぜこれが必要なのか?) 2. Why now? (なぜ今必要?) 3. Why you? (なぜ自分たちがするのか?) についてのお話もありました。
- 講演後は、受講生がそれぞれのチームごとに構想しているアイデアを発表。上原社長からも具体的なフィードバックをいただき、参加者にとっても効果的なアウトプットとなりました。

(株)日本政策金融公庫からのレクチャー

- 公庫で起業・創業支援を担当している村上氏・永瀬氏からビジネスプランの作り方について参加者へレクチャーを行いました。
- ビジネスに関する金融知識や顧客の定義、顧客が抱える課題の定義、商品・サービス・販売方法、経営資源、収支計算の重要性について説明を行いながら、参加者同士で簡単なワークショップを実施。
- ワークショップ時には大津財務事務所からも積極的にアドバイスを行いました。



中間発表会

(株)日本政策金融公庫などの関係機関が見守る中、中間発表会を実施。各チームが現状考えているプランを確認し、大津財務事務所から全チームに対して気になる点などをフィードバックすることで、アイデアのブラッシュアップを行いました。

各チームの発表とフィードバック

- 各チームの発表時間はピッチ同様に5分と短い時間でした。短いながらも、具体的なプラン、熱意、マネタイズが伝わってきました。
- 発表を受けて、関係機関のコメントからプランに対する質問や改善点などをアドバイス。
- 大津財務事務所からは全チームの発表内容を確認し、気になる点などをまとめて各チームへフィードバック。参加者から「大変貴重なアドバイスをいただいた」との感謝のメッセージもいただきました。



収支の計算内容は？

技術的な実現可能性は厳しいのでは？

大津財務事務所

財務局

Local Finance Bureaus

フィード
バック

関係機関のコメントなど

ビジネスプランの
将来性は？

参加学生チーム



びわ湖ピッチ2021

キックオフから約2か月間かけて参加学生チームそれぞれが考案したビジネスプランを、社会で活躍する起業家・投資家・専門家に説明するピッチ（ショートプレゼン）を実施。入賞者には表彰状と副賞が贈呈されました。

市長、大津財務事務所長ご挨拶

- 開会に先立ち、宮本市長から改めて市のビジョンや本プログラムの趣旨を含めた挨拶があり、今回協力させていただいた立場として谷上大津財務事務所長も来賓挨拶を行い、これからピッチを控える参加学生に対して熱いメッセージを送りました。



ピッチセッション実施と表彰

- ピッチセッションでは、もりやまキャリアチャレンジに参加した5チームが出場。ピッチを行うチャレンジャーたちは、地域の魅力・問題発見を行い、ビジネスプランを作り、試行錯誤をしながら、発表本番を迎えました。ピッチ時間は5分間、その後、審査員からの質疑を5分間受け付けました。
- 出場チームの中から最も優れたピッチを行ったと評価されたチームには「最優秀賞」、またびわ湖ピッチ協賛企業各社により「コカ・コーラ賞」「旭化成賞」「平和堂賞」「ファイナンス優秀賞」の計5つの賞が贈られました。



ピッチ当日の様子はYoutubeで閲覧いただけます。

(<https://youtu.be/-znRLjejpc4>)

びわ湖ピッチ2021

(参考) 参加学生チームの発表内容

👑 最優秀賞



チーム名：mixture
プラン名：アイバド

概要：
コロナによるやる気の低下、思うように上達しない、練習内容が不十分といった運動部員の悩みを、AIを活用した自主練習支援アプリ「アイバド」で解決するプランを提案。



チーム名：カラフル
プラン名：グローバドール

概要：
自身の自己体験から人種問題に着目し、幼少期から遊びを通して意識を変えるために、リアルで異文化に触れることにこだわりながらも、バーチャルで学びを拡張する「グローバドール」を提案。

コカ・コーラ賞 ファイナンス優秀賞



チーム名：ゆいまある
プラン名：+flower

概要：
廃棄ロスに着目し、誰の目にも触れられず廃棄される花をお客様に届け、咲き終わった花をまた別の形で提供するサービスを提案。

旭化成賞 平和堂賞



チーム名：TeamB
プラン名：いえたび

概要：
コロナ禍によって失われた家族の繋がりをDVDを使って取り戻す、家族向けサービスを提案。



チーム名：BB-Books
プラン名：お金払ってゴミ拾い

概要：
近年問題となっている琵琶湖に浮かんでいるゴミの多さに着目し、楽しみながらゴミを回収でき、琵琶湖の環境問題を解決するエンタメサービスを提案。

振り返り・交流会

参加学生がグループワークを通して、もりやまキャリアチャレンジを通して学んだことや次回以降の改善点などを洗い出し、整理。また、複業人材として守山市で政策アドバイザーを務める社会人らと参加学生による意見交換を行いました。

振り返り会

- 参加学生や大津財務事務所を含む関係機関も出席し、もりやまキャリアチャレンジの活動を通して、自分にどのような成長があったのか、またどのようなことを学ぶことができたのか振り返るワークショップを行いました。
- このワークショップでは、自分が何を学んだか言語化することができ、参加者からは、「プログラムを通して自分の強み、性格を知ることができた」や「様々な大人（関係機関）と関わることができて嬉しかった」という感想をいただきました。



守山市政策アドバイザーとの交流会

- 複業人材として守山市で政策アドバイザーを務める4名と、守山市や大津財務事務所も出席し、参加学生との交流会を行いました。
- この交流会は、少人数のグループに分かれて行われ、高校時代の過ごし方、これからの進路の決め方、起業についてどのように考えているのか、フリーランスや起業家とはどういう仕事をしているのか、なぜその職業を選択したのか、というリアルな疑問を若者の立場、社会人の立場から、お互いに質問し、丁寧に話を聞く機会となりました。



その後の展開

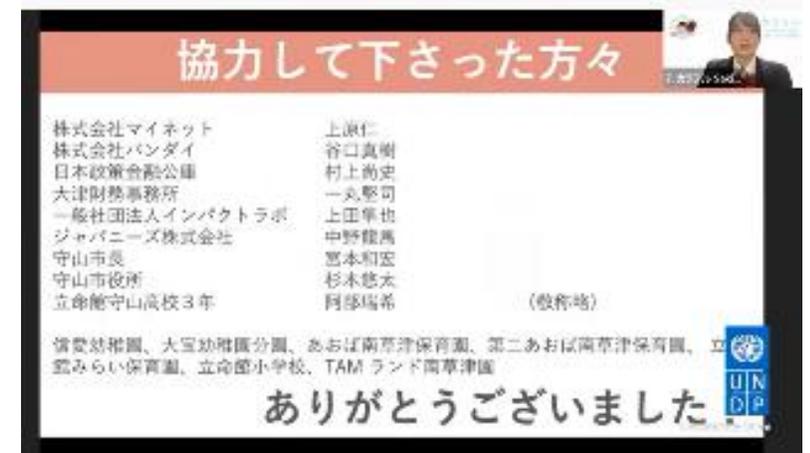
大津財務事務所がブラッシュアップに携わった学生の一部プラン（グローバドール）が、国連や(株)日本政策金融公庫主催のビジネスプラングランプリにもエントリーされ、いずれも滋賀県史上初の上位入選する快挙を達成しました。

ソーシャル・イノベーション・チャレンジ 2021日本大会のファイナリストに👑

- 国連開発計画（UNDP）とシティ・ファウンデーションが共催するSDGsビジネスコンテストのファイナリスト（79チーム中から9チーム）に選ばれ、学生が日本大会（オンライン開催）に出場。
- 当日は立命館守山高校の中井さんがグローバドールの内容をしっかりと口調とわかりやすい説明でプレゼンを行いました。なお、グローバドール考案の協力者として大津財務事務所の名前も記載してくれていました。

「高校生ビジネスプラン・グランプリ」の セミファイナリスト賞を受賞👑

- 日本政策金融公庫が開催する、第9回「創造力、無限大∞ 高校生ビジネスプラン・グランプリ」にグローバドールを考案した学生チームを代表して立命館守山高校メンバーがエントリー。
- 応募総数3,087件（353校）の中から惜しくもファイナリスト10組には選出されなかったものの、ファイナリストに準ずる優秀なプラン10組に贈られる「セミファイナリスト賞」に選ばれました。



取組を終えて（関係者メッセージ）

もりやまキャリアチャレンジ2021に今回、大津財務事務所も参加学生が考案するビジネスプランのブラッシュアップなどに参加。本年度の取組を終え、特にお世話になった関係者から当局宛に大変嬉しいメッセージをいただきました。

守山市 宮本市長様



- 今回大津財務事務所様のお力添えをいたくなかで、地元企業や金融機関、大学などを巻き込みながら、中高生によるビジネスピッチを開催することができました。将来を支える若い世代の育成に向け、地域を挙げて地方創生を実現するモデル事例となったと思います。今後とも是非連携をお願いします。

(株)日本政策金融公庫
橋本 大津支店長様



- 約2か月間、貴所が参加した生徒たちに対し、地域への熱い思いを育て深化させたこと、「教える」ではなく「一緒に考える」姿勢で丁寧かつ親身に寄り添うことなどを間近で体感し時間を共有できたのは我々にとって大変参考になりました。ありがとうございました。今後も様々な場面で地域のために連携しましょう！

一般社団法人インパクトラボ
上田代表理事様



- もりやまキャリアチャレンジへのご協力ありがとうございました。昨年度は、びわ湖ピッチにおける所長のご挨拶を頂きましたが、今年度は、貴所にプログラム開始時から高校生らの活動にアドバイス頂くなど昨年度よりも密な連携を頂きました。参加した高校生がびわ湖ピッチ以降も活動を続け、外部のコンテストで受賞できたこともプログラム終了後にも貴所に協力頂いたおかげです。本当に感謝しております。来年度も引き続きご協力お願い致します。

立命館大学
杉山様



- この度は多大なるご協力をいただきましてありがとうございました。生徒が行き詰まった時は、貴所のお力添えを頂きたく、お忙しい所何度も生徒たちと話し合う時間を設けていただきました。企業とは異なる行政の視点からのご意見は生徒にとって多くの気づきがあり、最終的にチームのアイデアが現実的かつ複層的なものに纏まったのは皆様のおかげに他なりません。本当にありがとうございました。

終わりに

今回の取組支援を通じて、守山市が総合計画として掲げる「起業家の集まるまち守山」の取組が更に加速し、参加者や関係機関にとっても参加することで今後のより良い機会となっていれば大変嬉しく思います。

大津財務事務所では、引き続き本取組のほか、地域の課題や要望を把握し、ネットワークを活かした地方創生・地域活性化に資する取組を推進してまいります。

大津財務事務所総務課企画係

